

3/25

災害時に力を発揮する2車両のお披露目 加圧式給水タンク車と防災用資材運搬車導入（市役所）



市に3台目の給水タンク車が導入されました。この給水タンク車は「いすゞエルフ」をベースに1800リットルの水を積載できるタンクが設置され、小口の給水のほか、高所への給水を可能にした加圧ポンプも搭載されています。また、さまざまな気象条件を想定し、駆動を四輪駆動車としたほか、LEDの作業灯も装備されています。車両重量を5トン以下にしたため普通自動車免許（平成29年改正前制度の対応）で運転ができ、汎用性のある仕様になっています。



市ではこの度、2トンのアルミバントラックを導入しました。

これまでは有事の際、^{じんかいしゃ}塵芥車などを代用し避難物資などを運搬していましたが、ブルーシートをかけてロープで固定する必要があることや、荷台が高く積み下ろしに時間がかかっていました。

新たに導入されたトラックは、アルミバンボックスで電動昇降機が付属されており、利便性が格段に向上し、スムーズな物資の輸送が可能となりました。

3/22

郷土の魅力を形に

第1回新潟SDGsアワードの大賞を受賞（荒川中学校×あらかわ地区まちづくり協議会）



▲産官学の連携が評価されました

地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」主催の第1回新潟SDGsアワードの表彰式が新潟日報メディアシップで行われ、特産品を使った商品開発などを進めた「荒川中学校3年生×あらかわ地区まちづくり協議会」が見事大賞に輝きました。これは、地域資源を活用した商品開発やイベントの実施など、中学生が地域住民や企業と連携した地域活性化を推進したことが評価されたものです。

表彰式に参加した^{いちのせゆいと}一ノ瀬唯斗さんは「大人になって地元に戻る時には、故郷が今よりもさらに良い地域になるために、学んだことを生かしたい」と話していました。

4/4

山北の玄関「JR府屋駅」を`花、やかに` 府屋駅前通町内会の環境美化活動（JR府屋駅）

府屋駅前通町内会では、環境美化活動の一環として、JR府屋駅前の花壇整備に取り組んでいます。

手つかずであった緑地帯を、まずは土づくりから着手。置き石を並べるなどの作業を進め、今回はこれから開花する花や植物の苗を町内の子どもたちと一緒に植栽しました。参加者は、「コロナ禍なので、さまざまな行事が中止となる中、良い思い出づくりになります」と笑顔で語ってくれました。

今後も、初夏や秋、そして来春に向けた作業が計画され、山北の玄関「府屋駅」を彩る予定です。



▲小雨が降る中、一株ずつ丁寧に植栽